

平成23年度学会発表・講演等一覧

[企画部]

- ◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・地震及び被害の概況：林保
 - ・震災対応における地理空間情報の活用：永山透
 - ・公共測量における新技術の導入ー公共測量作業規程の準則の一部改正ー：飯村友三郎
- ◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成23年6月23日 学術総合センター 一橋記念講堂（東京都千代田区）
 - ・地理空間情報の活用事例：永山透
 - ・復興に向けて整備・提供する地理空間情報：田中博幸
- ◇震災復興のための地理空間情報の提供に関する報告会 平成23年7月15日 ハーネル仙台（仙台市青葉区）
 - ・公共測量作業規程の一部改正と地震に伴う公共測量の実施に関する対応：飯村友三郎
 - ・地理空間情報の活用事例：林保
- ◇ワークショップ「災害を観る 8」 平成24年1月20日 神戸国際会議場（兵庫県神戸市）
 - ・東日本大震災における国土地理院の取り組み：大木章一

[測地部]

- ◇日本地球惑星科学連合2011年大会 平成23年5月22日～27日 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）
 - ・VLBI2010とGGOS：栗原忍・黒田次郎・石原操・小門研亮・川畑亮二
 - ・高速ネットワーク回線を用いた地球自転速度の即時算出：小門研亮・栗原忍・川畑亮二・農澤健太郎（（株）エイ・イー・エス）・谷本大輔（（株）エイ・イー・エス）
 - ・極小アンテナによる測地VLBI観測の成果：川畑亮二・栗原忍・黒田次郎・石原操・小門研亮・市川隆一（（独）情報通信研究機構）・瀧口博士（（独）情報通信研究機構）・岳藤一宏（（独）情報通信研究機構）・木村守孝（（独）情報通信研究機構）・小山泰弘（（独）情報通信研究機構）・石井敦利（（株）エイ・イー・エス）・向井泰子（（株）エイ・イー・エス）・谷本大輔（（株）エイ・イー・エス）・農澤健太郎（（株）エイ・イー・エス）
 - ・干渉SARと水準測量を利用した地盤沈下監視：野口優子・鈴木啓・唐沢正夫
 - ・磁気図2010.0年値の作成：阿部聡・植田勲・高橋信雄・川原敏雄・田上節雄（中部地方測量部）・石倉信広（東北地方測量部）
 - ・次世代衛星携帯電話を利用したリモートGPSモニタリングシステム(REGMOS-Hybrid)の開発：平岡喜文・横川正憲・根本盛行・村山盛行（（株）テクノバンガード）・武山峰典（（株）テクノバンガード）
 - ・日本重力基準系2010（案）の提案：岡村盛司・菅原安宏・植田勲・千早昭二・川原敏雄
- ◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・「だいち」（ALOS）を利用した地殻・地盤変動監視：石原操
 - ・基準点測量成果の改定：檜山洋平
- ◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成23年6月23日 学術総合センター 一橋記念講堂（東京都千代田区）

- ・「だいち」(ALOS) を利用した地殻・地盤変動監視：石原操
 - ・基準点測量成果の改定：檜山洋平
- ◇震災復興のための地理空間情報の提供に関する報告会 平成 23 年 7 月 15 日 ハーネル仙台 (仙台市青葉区)
- ・三角点・水準点成果の改定：米溪武次
- ◇Asia Oceania Geosciences Society (AOGS2011) (アジア大洋州地球科学連合 2011 年大会) 平成 23 年 8 月 8 日～12 日 タイペイ インターナショナル コンベンション センター (中国・台北)
- ・Geodetic VLBI in Japan (日本の測地 VLBI について)：栗原忍・小門研亮・黒田次郎・石原操・川畑亮二・小山泰弘 ((独) 情報通信研究機構) ・近藤哲朗 ((独) 情報通信研究機構) ・関戸衛 ((独) 情報通信研究機構) ・市川隆一 ((独) 情報通信研究機構) ・トーマス・ホビガー ((独) 情報通信研究機構)
- ◇The First ICSU World Data System Conference (第 1 回国際科学会議世界データシステム会議) 平成 23 年 9 月 3 日～6 日 京都大学 (京都府京都市)
- ・GSI' s Contribution to the Geomagnetic Observation Field (地磁気観測分野への国土地理院の貢献)：阿部聡・矢萩智裕
- ◇平成 23 年度国土交通省国土技術研究会 平成 23 年 10 月 17 日～18 日 国土交通省 (中央合同庁舎 2 号館) (東京都千代田区)
- ・磁気図 2010.0 年値の作成：後藤勝広
- ◇日本測地学会第 116 回講演会 平成 23 年 10 月 26 日～28 日 高山市民文化会館 (岐阜県高山市)
- ・ALOS/PALSER データで捉えた平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動：宮原伐折羅・山中雅之・野口優子・鈴木啓・小林知勝 (地理地殻活動研究センター) ・飛田幹男 (地理地殻活動研究センター)
 - ・干渉 SAR による地盤沈下監視～フィルター処理が解析結果に与える影響～：山中雅之・宮原伐折羅・野口優子・鈴木啓・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)
 - ・新潟地域における干渉 SAR と水準測量による地盤沈下監視の比較：野口優子・山中雅之・宮原伐折羅・鈴木啓・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)
 - ・VLBI データ相関処理の高速化とリアルタイムデータ処理：小門研亮・栗原忍・川畑亮二・農澤健太郎 ((株) エイ・イー・エス)
 - ・アジア太平洋地域における地殻変動監視 (序報)：鈴木啓・宮原伐折羅
 - ・平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震に伴う三角点及び水準点成果の改定：福崎順洋
- ◇地球電磁気・地球惑星圏学会第 130 回総会及び講演会 平成 23 年 11 月 3 日～6 日 神戸大学 六甲台第 2 キャンパス (兵庫県神戸市)
- ・磁気図 2010.0 年値の作成：阿部聡・植田勲・後藤勝広・海老名頼利・田上節雄 (中部地方測量部) ・石倉信広 (東北地方測量部)
- ◇2011 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 23 年 11 月 16 日～18 日 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス サイエンスホール (大阪府堺市)
- ・国土地理院 機関報告：福崎順洋・石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
- ◇第 3 回 ALOS-2/3 ワークショップ 平成 23 年 11 月 17 日～18 日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市)
- ・ALOS/PALSAR を活用した地盤沈下の監視：山中雅之・鈴木啓・宮原伐折羅・石原操・野口優子

- ◇第 55 回宇宙科学技術連合講演会 平成 23 年 11 月 30 日～12 月 2 日愛媛県 県民文化会館（ひめぎんホール）（愛媛県松山市）
 - ・ALOS/PALSAR データで捉えた平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動：山中雅之・鈴木啓・宮原伐折羅・石原操・野口優子・小林知勝（地理地殻活動研究センター）・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）
- ◇東京大学地震研究所 共同利用 一般研究集会 平成 23 年 12 月 13～14 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
 - ・国土地理院の提供する地磁気データの紹介と展望：植田勲・阿部聡・後藤勝広・海老名頼利・白井宏樹（鹿野山測地観測所）・加川亮（鹿野山測地観測所）
- ◇TX テクノロジー・ショーケース in つくば 2012 平成 24 年 1 月 13 日 つくば国際会議場（茨城県つくば市）
 - ・磁気図 2010.0 年値：植田勲
- ◇The 1st Workshop of Asia-Pacific Region Global Earthquake and Volcanic Eruption Risk Management (G-EVER1)（第 1 回アジア太平洋大規模地震・火山噴火リスク対策ワークショップ） 平成 24 年 2 月 22 日～25 日（独）産業技術総合研究所つくば中央共用講堂（茨城県つくば市）
 - ・The observation with Remote GNSS Monitoring System（GNSS 火山変動リモート観測装置による観測）：針間栄一郎
- ◇IVS VLBI2010 TecSpec（国際 VLBI 事業 VLBI2010 技術仕様ワークショップ） 平成 24 年 3 月 1 日～2 日 バート・ケッツティング（ドイツ・バイエルン州）
 - ・Specification of a New Antenna for VLBI2010 to be constructed in Japan（日本に建設予定の VLBI2010 対応新アンテナの仕様）：福崎順洋・石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
- ◇7th IVS General Meeting（国際 VLBI 事業 第 7 回総会） 平成 24 年 3 月 4 日～9 日 マドリード王立天文台（スペイン・マドリード）
 - ・New Project for constructing VLBI2010 Antenna in Japan（日本における VLBI2010 対応新アンテナ建設計画）：福崎順洋・石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二
 - ・Recent Activities of Tsukuba Correlator/Analysis Center（つくば相関局／解析センターの最近の活動）：小門研亮・栗原忍・川畑亮二
 - ・The impact of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake on Tsukuba 32-m VLBI station（東北地方太平洋沖地震がつくば 32m VLBI 観測局に与えた影響）：栗原忍・石原操・黒田次郎・小門研亮・川畑亮二

[地理空間情報部]

- ◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成 23 年 6 月 23 日 学術総合センター 一橋記念講堂（東京都千代田区）
 - ・震災対応における地理空間情報の提供：佐藤浩
- ◇地理情報システム学会第 20 回研究発表大会 平成 23 年 10 月 16 日 鹿児島大学（鹿児島県鹿児島市）
 - ・電子国土 Web システムオープンソース版の開発：佐藤壮紀
- ◇2012 年日本地理学会春季学術大会 平成 24 年 3 月 29 日 首都大学東京（東京都八王子市）
 - ・SAR 干渉画像で捉えた東北地方太平洋沖地震による地すべり性地表変動：佐藤浩・岡谷隆基（地理地殻活動研究センター）・神谷泉（地理地殻活動研究センター）・小荒井衛（地理地殻活動研究センター）・山

中雅之（測地部）・鈴木啓（測地部）・宮原伐折羅（測地部） 関口辰夫（応用地理部）・原哲也（エイ・イー・エス）・八木浩司（山形大）

・国土地理院背景地図等データ利用規約の策定：佐藤浩

[基本図情報部]

◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）

・基盤地図情報と電子国土基本図の整備・更新・活用：長谷川裕之

◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成23年6月23日 一橋記念講堂（東京都千代田区）

・被災地の空中写真及び正射写真地図等の整備：林孝

◇日本写真測量学会平成23年度年次学術講演会 平成23年5月23～24日 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

・東日本大震災への国土地理院の対応：政春尋志

・航空機 SAR による霧島山（新燃岳）の火口地形観測：渡部金一郎

[応用地理部]

◇日本地球惑星科学連合 2011 年大会 平成23年5月22日～27日 幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）

・Activities for the development of Global Map Version 2（地球地図第2版整備の取組）：鶴生川太郎・中村孝之・高橋英尚（北海道地方測量部）・飯村威・岸本紀子・高木美穂（企画部）・小島脩平（環境省）・須賀正樹

・Utilization of Global Map for addressing global issues（地球規模の課題への地球地図の利活用）：中村孝之・高橋英尚（北海道地方測量部）・飯村威・岸本紀子・高木美穂（企画部）・小島脩平（環境省）・須賀正樹

・Interpretation of landscapes in tectonically active areas using 5m DEMs from airborne laser scanner data（航空レーザ測量による5mDEMを用いた変動地形の観察）：岩橋純子・大塚力・星野実・佐藤忠（基本図情報部）

・Color Design of the land condition maps of Japan（土地条件図の色設計について）：飯田誠・丹羽俊二・鈴木義宜

◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）

・津波による浸水状況：鈴木義宜

◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成23年6月23日 学術総合センター 一橋記念講堂（東京都千代田区）

・津波による浸水状況：鈴木義宜

・浸水地域の被災状況及び浸水到達状況調査：長谷川学

◇ICC(International Cartographic Conference)2011（国際地図学会議2011） 平成23年7月3日～8日 フランス・パリ

・Global Mapping Activities for the Version2 Development and its Applications（地球地図の第2版整備と利活用に関する取組）：福島芳和・中村孝之・谷田部好徳・高橋英尚（北海道地方測量部）・飯村威・岸本紀子・高木美穂（企画部）・小島脩平（環境省）・須賀正樹・吉川正幸・小荒井衛（地理地殻活動研究センター）・岡谷隆基（地理地殻活動研究センター）

- ◇日本国際地図学会平成23年度定期大会 平成23年8月8日～10日 国士舘大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)
 - ・東日本大震災初動における国土地理院の地図作成・提供の取り組み：鈴木義宜
- ◇第4回 IASPEI/IAEE 国際シンポジウム 平成23年8月26日 カリフォルニア大学サンタバーバラ校(アメリカ・カリフォルニア)
 - ・A Terrain-based Site Conditions Map of California with Implications for the Contiguous United States (隣接する米国全体を意識した、地形に基づくカリフォルニアの揺れやすさマップ)：Alan Yong(USGS)・Susan E. Hough(USGS)・Junko Iwahashi・Amy Braverman(JPL/Caltech)
- ◇地理情報システム学会第20回研究発表大会 平成23年10月15日～16日 鹿児島大学(鹿児島県鹿児島市)
 - ・地球地図促進のための国土地理院の取組：飯村威・中村孝之・大塚力・鶴生川太郎・中南清晃・本嶋祐介・須賀正樹・谷田部好徳
- ◇2011年度空間情報科学研究センターシンポジウム 平成23年11月10日～11日 東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)
 - ・航空レーザ測量のDEMから作成した余色立体図による活断層地形の観察：岩橋純子・佐藤忠(基本図情報部)・内川講二(地理空間情報部)・小野康・下地恒明・星野実

[測地観測センター]

- ◇日本地球惑星科学連合2011年大会 平成23年5月23～27日 幕張メッセ国際会議場(千葉県美浜区)
 - ・準天頂衛星「みちびき」の測量利用に向けてー基線場におけるGPS補完機能の実証実験ー：辻宏道・矢来博司・豊田友夫・矢萩智裕・吉田賢司(北陸地方測量部)・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・小暮聡((独)宇宙航空研究開発機構)・山下二郎((独)宇宙航空研究開発機構)・三好基之((独)宇宙航空研究開発機構)・館下博昭((独)宇宙航空研究開発機構)・若林野花((独)宇宙航空研究開発機構)・高須知二(東京海洋大学)
 - ・「みちびき」からの測位補正情報を用いた測位手法の開発及び測量作業への適用について：矢萩智裕・豊田友夫・矢来博司・辻宏道・吉田賢司(北陸地方測量部)・畑中雄樹・宗包浩志・黒石裕樹(地理地殻活動研究センター)
 - ・GEONET準リアルタイム解析システムの構築について：小島秀基(測地部)・影山勇雄・矢萩智裕・古屋智秋・古屋有希子
 - ・地震活動の予測的な評価手法に関する検討について(その2)ー余震活動の予測手法についてー：北川貞之・小屋政裕・本田昌樹(文部科学省)・横田崇・長谷川洋平・宮岡一樹(気象庁)・今給黎哲郎(地理地殻活動研究センター)・島崎邦彦(東京大学)・矢来博司
- ◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・準天頂衛星「みちびき」による高精度測位補正：矢来博司
- ◇Seminar on East-Asia Earthquakes Studies(東アジア地震セミナー) 平成23年10月19～21日 北京新世紀日航飯店(中華人民共和国 北京市)
 - ・Earthquake and volcano monitoring by GPS and InSAR in Japan(GPSとInSARによる地震・火山モニタリング)：矢来博司
 - ・The Mw9.0 2011 Off-Tohoku Earthquake -Crustal deformation and Fault model- (2011年東北地方太平洋沖地震-地殻変動及び断層モデル-)：矢来博司

- ◇日本測地学会第 116 回講演会 平成 23 年 10 月 25～28 日 高山市民文化会館 (岐阜県高山市)
 - ・ 駿潮場の GPS 連続観測データを用いた海面変動解析：三浦優司・川元智司
 - ・ 豊後水道スロースリップ域の西側隣接域で発生した長期的スロースリップイベント：矢来博司・小沢慎三郎 (地理地殻活動研究センター)
 - ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震に伴う電子基準点成果の改定：矢萩智裕・古屋有希子・影山勇雄・川元智司・木村久夫・山口和典・辻宏道・吉池健・松村正一
- ◇GPS/GNSS シンポジウム 2011 平成 23 年 10 月 26～28 日 東京海洋大学越中島会館 (東京都江東区)
 - ・ 準天頂衛星システム技術実証：LEX 測位補強 (測量用) 実験：豊田友夫・矢萩智裕・吉田賢司 (北陸地方測量部)・矢来博司・辻宏道・古屋智秋
- ◇第 3 回アジア・オセアニア GNSS 地域ワークショップ 平成 23 年 11 月 2～3 日 韓国 (済州島)
 - ・ GEONET ready for GNSS (GNSS 化する GEONET)：古屋智秋
- ◇ユネスコ・国連大学国際シンポジウム 平成 23 年 2 月 16～17 日 国連大学ウ・タント国際会議場 (東京都渋谷区)
 - ・ GPS リアルタイム地殻変動観測による津波警報システムの改善・支援：矢来博司

[地理地殻活動研究センター]

- ◇日本地球惑星科学連合 2011 年大会 平成 23 年 5 月 22 日～27 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
 - ・ SAR 干渉画像による活動的な地すべり土塊の特定の可能性について：岡谷隆基・佐藤浩 (地理空間情報部)・鈴木啓 (測地部)・飛田幹男・関口辰夫 (応用地理部)・中埜貴元・小荒井衛
 - ・ 面積の歪みと角の歪みのバランスを考慮した地図投影法の設計方法：神谷泉
 - ・ ALOS/PALSAR データにより検出された 2010 年イラン南東部の地震に伴う地殻変動：小林知勝・飛田幹男・鈴木啓 (測地部)・野口優子 (測地部)
 - ・ 斜軸法地図投影における第 3 の回転の効果：政春尋志 (基本図情報部)
 - ・ 「盛土脆弱性評価システム」のその後の展開：中埜貴元・小荒井衛
 - ・ 航空レーザ技術で作成した景観生態学図について：小荒井衛・乙井康成・中埜貴元・吉田剛司 (酪農大学)・山下亜紀郎 (筑波大学)・長澤良太 (鳥取大学)・日置佳之 (鳥取大学)
 - ・ 活褶曲地帯の地形発達と斜面崩壊の関連：小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・小松原琢 ((独) 産業技術総合研究所)・黒木貴一 (福岡教育大学)
 - ・ 時空間地理情報の時空間電子国土 Web システムによる配信：小荒井衛・中埜貴元
 - ・ 電子国土 Web システムを利用したテフラの露頭情報の Web 配信：小荒井衛・中埜貴元・鈴木毅彦 (首都大学東京)・中山大地 (首都大学東京)・和知剛 (アイ・エス・ソリューション)・藤縄明彦 (茨城大学)
 - ・ 伊豆大島のマグマ溜まりの時間変化：小沢慎三郎
 - ・ VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証システムの開発：高島和宏・市川隆一 (情報通信研究機構)・高橋富士信 (横浜国立大学)・大坪俊通 (一橋大学)・小山泰弘 ((独) 情報通信研究機構)・関戸衛 (情報通信研究機構)・瀧口博士 ((独) 情報通信研究機構)・ホビガー トーマス ((独) 情報通信研究機構)
 - ・ GPS データによる西南日本の短期的スロースリップの検出：西村卓也・水藤尚
 - ・ GPS データから明らかになった伊豆半島周辺のテクトニクス-伊豆マイクロプレートと伊豆背弧拡大-：西村卓也

- ・2010年福島県中通りの地震の InSAR 解析結果：飛田幹男・小林知勝・鈴木啓（測地部）・野口優子（測地部）
- ・GEONETによる太平洋プレート上での断層すべりの検知能力：水藤尚
- ・高分解能数値気象モデルを用いて再現された測位誤差について：石本正芳・宗包浩志・小林 知勝
- ・ミンダナオ島(フィリピン)における GPS 地殻変動連続観測 (序報)：今給黎哲郎・塩谷俊治・木股文昭 (名古屋大学)・PHIVOLCS T. C. Bacolcol (名古屋大学)
- ・火山 GPS 統合解析データに基づく霧島山の変動源モデル：今給黎哲郎・国土地理院霧島火山観測解析グループ
- ・2011年東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：飛田幹男・石原操(測地部)・今給黎哲郎・小沢慎三郎・小林知勝・齊藤隆・水藤尚・鈴木啓(測地部)・西村卓也・野口優子(測地部)・宮原伐折羅(測地部)・宗包浩志・山中雅之(測地部)・矢来博司(測地観測センター)・佐藤まりこ(海上保安庁)・西澤あずさ(海上保安庁)
- ・High-resolution gravimetric geoid model for Japan from EGM2008 and local gravity model (EMG2008 と局所重力モデルからの日本の高分解能重力ジオイド・モデル)：Patroba Odera (京都大学)・福田洋一(京都大学)・黒石裕樹
- ・ポリゴン型土地利用データを用いた遷移過程の分析：水谷千亜紀(筑波大学)・小荒井衛・中埜貴元
- ・地形量解析による平成16年新潟県中越地震で生じた斜面崩壊地域の推定：黒木貴一(福岡教育大学)・小荒井衛・小松原琢(産業技術総合研究所)・岡谷隆基・中埜貴元
- ・第四紀の地形・地質に記録された長期的な地殻変動と2011年東北地方太平洋沖地震による地殻変動の関係：鈴木毅彦(首都大学東京)・小荒井衛・笠原天生(首都大学東京)・河合貴之(首都大学東京)
- ◇電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会第10回総会 平成23年5月31日 測量年金会館(東京都新宿区)
 - ・東北地方太平洋沖地震―地震による地殻変動：今給黎哲郎
- ◇第40回国土地理院報告会 平成23年6月3日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・地震による地殻変動：今給黎哲郎
 - ・GEONETによる地殻活動の監視：水藤尚
- ◇国土地理院東日本大震災調査報告会 平成23年6月23日 学術総合センター 一橋記念講堂(東京都千代田区)
 - ・古い地図・写真からみる液状化の状況：小荒井衛
- ◇IUGG 2011(国際測地学・地球物理学連合第15回総会) 平成23年6月28日～7月7日メルボルン会議場(オーストラリア・メルボルン市)
 - ・Detection of short-term slow slip events in southwestern Japan using GPS data (GPSデータによる西南日本の短期的スロースリップの検出)：西村卓也・水藤尚
 - ・Co-and post-seismic deformation of the Mw9.0 2011 Off-Tohoku Earthquake and strain accumulation observed by GEONET (Mw 9.0 東北沖地震の地震時、地震後地殻変動とGEONETによって観測された歪蓄積)：西村卓也・小沢慎三郎・水藤尚・小林知勝・飛田幹男・今給黎哲郎
- ◇第25回国際地図学会議 平成23年7月3日～7月8日 パリ国際会議場(フランス)
 - ・Landscape-ecological maps for biodiversity evaluation using LIDAR data (航空レーザを用いた生物多様性評価のための景観生態学図の作成)：小荒井衛・中埜貴元・乙井康成・佐藤浩(地理空間情報部)・吉田剛司(酪農学園大学)・山下亜紀郎(酪農学園大学)・長澤良太(鳥取大学)・日置佳之(鳥取

大学)

- Geomorphological research using LIDAR data (航空レーザを用いた地形学的検討) : 小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・小松原琢 ((独) 産業技術総合研究所)・黒木貴一 (福岡教育大学)
- ◇緊急シンポジウム「巨大地震を探る—第四紀学からのアプローチ」 平成 23 年 7 月 10 日 東京大学理学部 1 号館 2F 小柴ホール (東京都文京区)
 - 東日本大震災に関連した国土地理院の地理情報解析研究 : 小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・神谷泉・乙井康成
- ◇東北地方太平洋沖地震津波に関する合同調査報告会 平成 23 年 7 月 16 日 関西大学高槻ミュージックキャンパス (大阪府高槻市)
 - 海上を進行中の津波の波頭等の計測 : 神谷泉・乙井康成・岡谷隆基・小荒井衛
- ◇震災復興のための地理空間情報の提供に関する報告会 平成 23 年 7 月 15 日 ハーネル仙台 (仙台市青葉区)
 - 東北地方太平洋沖地震による地殻変動 : 今給黎哲郎
- ◇日本国際地図学会平成 23 年度定期大会 平成 23 年 8 月 8 日～9 日 国土館大学 世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎 (東京都世田谷区)
 - XML 形式時空間データセットからの地形図描画ツールの開発 : 中埜貴元・小荒井衛
 - 面積の歪みと角の歪みのバランスを考慮した既存図法の評価 : 神谷泉
 - 液状化被害把握への時系列地理情報の活用 : 小荒井衛
 - 航空レーザ測量データを用いた景観生態学図作成のマニュアル化の検討 : 小荒井衛・乙井康成・中埜貴元
- ◇AOGS 2011 (アジア・オセアニア地球科学会 2011 年大会) 平成 23 年 8 月 8 日～12 日 台北国際会議場 (台湾・台北市)
 - Co- and post-seismic deformation of the Mw9.0 2011 Off-Tohoku Earthquake and strain accumulation observed by GEONET (GEONET によって観測された 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震時及び地震後地殻変動とひずみ蓄積) : 西村卓也・小沢慎三郎・水藤尚・小林知勝・飛田幹男・今給黎哲郎
- ◇日本第四紀学会 2011 年大会 平成 23 年 8 月 26 日～28 日 鳴門教育大学 (徳島県鳴門市)
 - 平成 23 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震による地盤変状と SAR 干渉画像との関連 : 小荒井衛・岡谷隆基・小林知勝・飛田幹男・脇坂安彦 ((独) 土木研究所)・佐々木靖人 ((独) 土木研究所)・阿南修司 ((独) 土木研究所)
- ◇UJNR 耐風・耐震部会 平成 23 年 8 月 29 日～30 日 国土政策技術総合研究所 (茨城県つくば市)
 - Crustal deformation and fault model of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake (東北地方太平洋沖地震による地殻変動と断層モデル) : 今給黎哲郎・飛田幹男・小沢慎三郎・西村卓也・水藤尚・小林知勝
- ◇日本地質学会第 118 年学術大会 平成 23 年 9 月 9 日～11 日 茨城大学 (茨城県水戸市)
 - 平成 23 年 4 月 11 日福島県浜通りの地震による被害状況と地形・地質との関連 : 小荒井衛・岡谷隆基・小林知勝・飛田幹男・脇坂安彦 ((独) 土木研究所)・佐々木靖人 ((独) 土木研究所)・阿南修司 ((独) 土木研究所)
- ◇地質情報展の市民向けポスター展示・説明会 平成 23 年 9 月 10 日～11 日 堀原運動公園武道館 (茨城県水戸市)
 - 東日本大震災に関連した地震による地盤変状と被害の特徴 : 小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・乙井康成・

神谷泉

- ・東日本大震災による津波状況の計測と浸水域の地理的特徴：小荒井衛・神谷泉・岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元

◇空間情報セミナーin新潟 平成23年9月21日 ホテル日航新潟（新潟県新潟市）

- ・東日本大震災での地理空間情報の活用例と最新動向：小荒井衛

◇日本地理学会2011年秋季学術大会 平成23年9月23日～24日 大分大学（大分県大分市）

- ・2011年長野県北部地震における被害分布の特徴：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・小林知勝
- ・東北地方太平洋沖地震の宮城県津波浸水域の土地利用と地形の特徴：小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・神谷泉

◇日本地震学会2011年秋季大会 平成23年10月12日 静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ（静岡県静岡市）

- ・SAR干渉解析から得られた東北地方太平洋沖地震後に発生した内陸地震の地殻変動と震源断層モデル：小林知勝・飛田幹男
- ・東北地方太平洋沖地震の余効変動：小沢慎三郎
- ・GEONETによる日本列島周辺のプレート境界面上の断層すべりの検知能力：水藤尚
- ・測地的に推定されたプレート間カップリングと東北地方太平洋沖地震により明らかになった課題：西村卓也
- ・太平洋沿岸における東北地方太平洋沖地震とその後の上下変動：飛田幹男・木村久男（測地観測センター）

◇地理情報システム学会第20回研究発表大会 平成23年10月15日～16日 鹿児島大学（鹿児島県鹿児島市）

- ・東日本大震災の津波浸水域の土地利用と地形のGIS解析：小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元・神谷泉
- ・生存期間に着目した土地利用の時空間分析：水谷千亜紀（筑波大学）・グレーガー コンスタンティン（筑波大学）・ロナルド エストケ（筑波大学）・コンドワニ ムンタリ（筑波大学）・小荒井衛・中埜貴元

◇平成23年度国土交通省国土技術研究会 平成23年10月17日～18日 国土交通省（中央合同庁舎2号館）（東京都千代田区）

- ・Mobile Mapping Systemによる津波浸水高の計測：岡谷隆基
- ・東日本大震災による宅地盛土被害と安全性評価との関連：中埜貴元

◇日本写真測量学会平成23年度秋季学術講演会 平成23年10月20日～21日 B-CON PLAZA（大分県別府市）

- ・Mobile Mapping Systemによる平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う津波浸水高の計測：岡谷隆基・小荒井衛
- ・地上画素寸法0.5m以下級衛星画像を用いた地物判読性能の検討：小荒井衛・中埜貴元・峰島貞治（日本スペースイメーシング）・中田晃司（日本スペースイメーシング）・賀川義昭（日立ソリューションズ）・鈴木伴英（日立ソリューションズ）

◇日本測地学会第116回講演会 平成23年10月26日～28日 高山市民文化会館（岐阜県高山市）

- ・GPS/験潮観測による地殻上下変動と経年的潮位変化について－東京湾近傍の海面上昇速度－：黒石裕樹
- ・国内VLBI観測用シミュレーターの整備：高島和宏
- ・主成分分析による東北地方太平洋沖地震の前震の余効変動の評価：宗包浩志
- ・SAR干渉解析により捉えられた霧島山（新燃岳）の火山活動に伴う地殻変動とその圧力変動源の推定：小林知勝・飛田幹男・今給黎哲郎・鈴木啓（測地部）・野口優子（測地部）・石原操（測地部）

- ・SAR 干渉解析から得られた東北地方太平洋沖地震後に発生した内陸地震の地殻変動と震源断層モデル：
小林知勝・飛田幹男
- ・数値気象モデルにより再現された測位誤差とその原因について：石本正芳・宗包浩志
- ・GEONET による内陸活断層帯周辺での断層すべりの検知能力：水藤尚
- ・精密基線解析のための電離層遅延補正モデル生成の一手法：畑中雄樹
- ・GEONET のルーチン解を基盤とする GPS 統合解析について(その2)：畑中雄樹
- ◇第5回建設技術講演会 東北地方太平洋沖地震～津波・液状化被害と今後の対応～ 平成23年11月1日 茨城県建設技術研修センター(茨城県水戸市)
- ・東北地方太平洋沖地震による津波浸水域の地理的特徴について：小荒井衛
- ◇2011年度 空間情報科学研究センター シンポジウム -CSIS DAYS 2011- 平成23年11月10日～11日 東京大学空間情報科学研究センター(千葉県柏市)
- ・Mobile Mapping System による東日本大震災に係る津波浸水深・浸水高の計測：岡谷隆基・小荒井衛
- ◇日本リモートセンシング学会第51回(平成23年度秋季)学術講演会 平成23年11月10日～11日 弘前大学(青森県弘前市)
- ・2011年東北地方太平洋沖地震の災害状況を事例にした地上解像度50cm以下級の光学衛星画像による災害状況判読特性の検討(予報)：小荒井衛・中埜貴元・峰島貞治(日本スペースイメーシング)・中田晃司(日本スペースイメーシング)・賀川義昭(日立ソリューションズ)・鈴木伴英(日立ソリューションズ)
- ◇第3回ALOS-2/3 ワークショップ 平成23年11月17日～18日 つくば国際会議場(茨城県つくば市)
- ・国土地理院における地震・火山活動に伴う地殻変動の観測・解析：小林知勝・飛田幹男・山中雅之(測地部)・野口優子(測地部)・鈴木啓(測地部)・宮原伐折羅(測地部)・石原操(測地部)
- ・地震・火山監視に有効なSAR観測：飛田幹男・小林知勝・山中雅之(測地部)・野口優子(測地部)・鈴木啓(測地部)・宮原伐折羅(測地部)・石原操(測地部)
- ・50cm解像度光学衛星画像による判読—地図作成のための地物の判読と災害状況把握のための判読—：小荒井衛・中埜貴元・峰島貞治(日本スペースイメーシング)・中田晃司(日本スペースイメーシング)・賀川義昭(日立ソリューションズ)・鈴木伴英(日立ソリューションズ)
- ◇日本活断層学会シンポジウム「2011年東北地方太平洋沖地震に伴う内陸活断層の挙動と地震活動・地殻変動」 平成23年11月25日 千葉大学(千葉県千葉市)
- ・GPS・SARからみた余効変動と余震による地殻変動：今給黎哲郎
- ◇GIS Landslide 研究会 平成23年11月26日 防災科学技術研究所(茨城県つくば市)
- ・解像度や諸元の違うDEM解析による地形的特徴抽出の違い：小荒井衛
- ◇AGU fall meeting 2011(アメリカ地球物理学連合2011年秋季大会) 平成23年12月5日～9日 Moscone Center(米国サンフランシスコ)
- ・Coseismic and postseismic deformation of the 2011 Tohoku earthquake observed by geodetic techniques and estimated slip models(測地技術によって観測された平成23年東北地方太平洋沖地震時と地震後の地殻変動と推定されたスリップモデル)：飛田幹男・小沢慎三郎・西村卓也・水藤尚・小林知勝・今給黎哲郎
- ◇第11回奈良女子大学共生科学研究センターシンポジウム「宇宙からの目で地球を知る・地域を知る」 平成23年12月17日 奈良女子大学(奈良県奈良市)
- ・リモートセンシング技術を活用した山地の地形特性の把握：小荒井衛

- ◇社会地質学会シンポジウム 平成 23 年 12 月 18 日 潮来市 (茨城県潮来市)
 - ・古い地図・空中写真等からみる東北地方太平洋沖地震による液状化分布：中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・宇根寛 (関東地方測量部)
- ◇TX テクノロジー・ショーケース in つくば 平成 24 年 1 月 13 日 つくば国際会議場
 - ・つくば市の時空間地理情報による TX 沿線の土地利用解析：小荒井衛・中埜貴元・村山祐司 (筑波大学)・水谷千亜紀 (筑波大学)
- ◇第 20 回環境地質学シンポジウム 平成 24 年 1 月 24 日～25 日 早稲田大学 国際会議場第一会議室 (東京都新宿区)
 - ・浦安市の液状化による沈下量の面的把握：小荒井衛・中埜貴元・乙井康成・宇根寛 (関東地測)・川本利一 (関東地測)・醍醐恵二 (浦安市)・向山栄 (国際航業)・香川淳 (千葉県環境研究センター)・古野邦雄 (千葉県環境研究センター)・風岡修 (千葉県環境研究センター)
 - ・東北地方太平洋沖地震により誘発された地震の被害の特徴：小荒井衛・中埜貴元・岡谷隆基・小林知勝・乙井康成
- ◇相模野基線再測量結果の発表および講演会 平成 24 年 2 月 3 日 サニープレイス座間 (神奈川県座間市)
 - ・海溝型大地震と南関東：今給黎哲郎
- ◇東南海・南海地震防災セミナー 平成 24 年 2 月 9 日 大阪府庁新別館北館 4 F 多目的ホール (大阪府大阪市)
 - ・海溝型大地震と近畿地方：今給黎哲郎
- ◇第 1 回アジア太平洋大規模地震・火山噴火リスク対策ワークショップ 平成 24 年 2 月 22 日～25 日 産業技術総合研究所共用講堂 (茨城県つくば市)
 - ・Seismic gap and a series of large earthquakes along the Sunda trench and the Sumatran fault (スンダ海溝およびスマトラ断層沿いの地震と地震空白域)：小林知勝・飛田幹男
 - ・GPS-and InSAR-derived crustal deformation and fault models of the 2011 Tohoku earthquake and the induced inland earthquakes (GPS および InSAR 観測で得られた平成 23 年東北地方太平洋沖地震および誘発内陸地震に伴う地殻変動と断層モデル)：小林知勝・飛田幹男・西村卓也・小沢慎三郎・水藤尚・今給黎哲郎
- ◇日本地理学会 2012 年春季学術大会 平成 24 年 3 月 28 日～29 日 首都大学東京 (東京都八王子市)
 - ・航空レーザ測量データを用いた植生の樹高・樹木密度を考慮した土地被覆分類の試行：岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛
 - ・東日本大震災における仙台平野の津波浸水域の地理的特徴：小荒井衛・岡谷隆基・中埜貴元

[東北地方測量部]

- ◇震災復興のための地理空間情報の提供に関する報告会 平成 23 年 7 月 15 日 ハーネル仙台 (仙台市青葉区)
 - ・震災対応における地理空間情報の提供：鈴木弘